

学校目標「自主性を養う」

～より高い価値を創造しようとする力をつける～



6つの重点

- ・挨拶の行き交う
- ・時を守る
- ・清掃に打ち込む
- ・歌声が響く
- ・学習に集中する
- ・読書に親しむ

【学校目標確認の合言葉】魂 智 和 (こん・ち・わ)

「魂を込める」「智を磨く」「和を尊ぶ」

【めざす生徒の姿】

主体的で対話的に学ぶ三中生～自ら進んで学び、課題を発見し、解決する力を育む学校～

- 知識や技能を活用する力
- 多様性を認め合い、よりよい人間関係を築く力
- 自律的に行動する力

重点1「誰もができる・わかる」 (学力の向上)

- ◆生徒の「主体的・対話的な学び」や「個別最適な学び」を保障し、知識や技能を活用する力を育成する
- 「わかる授業・できる授業」をめざす授業研究を進め、学力向上を図る
 - ・英語授業の少人数学習の導入
 - ・数学授業でのTTの導入(1年)
 - ・数学科における単元テスト評価の実施
- 学び合う教師集団の醸成
 - ・授業について教科横断的に語り合う研修〔東信教育事務所との連携〕
 - ・三中区の「自主性が育つ授業」について学び合う研修

重点2「多様な個性を認める」 (居心地のよい学級)

- ◆すべての生徒が自分らしく生活できる学年・学級づくりに努める
- 生徒一人ひとりのよさを活かして、生徒に応じた支援を行うために職員全員で情報共有し、連携して取り組む
 - ・ほっとルーム、学びルームの個別最適な運営
 - ・スクリーニング会議(毎月)の実施
 - ・確実な状況把握と外部の方の助言による早期対応
 - ・年3回の教育相談の充実
- 生徒会との連携強化

重点3「地域とともに」 (保護者や地域との連携)

- ◆保護者や学校運営委員、地域と協働して学校運営を進める(地域の大人に学ぶ)
- 地域ボランティアと連携し、個に応じた学習支援や補充的な学習
 - ・『月曜朝の学習(ASAGAKU)および『スイッチ(水曜放課後+地域の方と学ぶ)』を通じた学習の定着と意欲向上
- 学校開放や学校だより・HPによる地域に開かれた学校づくり

全校研究テーマ 生徒一人ひとりが課題に対する自分の考えや表現を追究し、仲間と共に「できた」「わかった」を実感する授業のあり方

- 教員一人ひとりが全校研究テーマに迫るために「私の研究テーマ」を設定し、互いに授業を見合い、同僚との対話から授業改善を進める。(東信教育事務所の学校改革支援訪問)
- 三中区における「自主性が育つ授業」について、小中の教職員が相互に学び合う関係を構築し、計画的な交流と対話を通して授業改善を推進する(小中連携による授業づくり研修会)

◆生徒会活動 生徒の思い

生徒会スローガン「星瞬」

「自分の個性や意見を表現し、仲間と過ごす時間を大切に、全力で楽しむ三中になろう」という願いのもと活動していきます。

◆保護者や地域の願い

- いじめや差別がなく、豊かな心を持ち、明るく育てほしい。
- 自ら学び、地域から学び、考える力を身につけてほしい。
- 学校と地域が連携し、皆で第三中を大好きな学校にしたい。

◆上田市教育支援プラン基本理念

- 「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」
- 「確かな学力」を培う
- グローバル社会を生き抜く力や、ふるさとを愛する心を育む
- 夢や希望を持って未来を切り拓く力を養う